



<https://www.gerodontology.jp/>

日本老年歯科医学会
Facebook



日本老年歯科医学会
公式 X



本紙に掲載されている本会オンライン事業の画像は、本会理事長が撮影を許可した広報委員会によるものです。本会オンライン事業に関するコンテンツの複製、その利用等は、目的の如何および個人利用を問わず、本会理事長が許可した場合を除き一切禁止しております。



News Letter

No.61

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2025年9月30日発行

【本号のトピックス】

第37 回学術大会のご案内／日本老年医学会 立場表明2025
口腔機能低下症啓発動画のご紹介／ECG 2025 参加報告
専門医認定者の声／名誉会員のご紹介／JSG EXAM7 廃止のお知らせ

第37回学術大会のご案内 #JSG26 たべるよろこび つづくしあわせ

大会長 池邊一典
(大阪大学大学院歯学研究科有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座教授)

一般社団法人日本老年歯科医学会第37回学術大会
を下記の要領で開催いたします。大会テーマは、「た
べるよろこび つづくしあわせ」といたしました。

本学術大会では、European College of Gerodon-
tology (ECG) と国際的な Joint Session を併催予
定で、魅力的なプログラムを企画しております。多彩
な講演、発表を聴講可能であり、多くの先生方とディス
カッションができるたいへん貴重な機会となります。
来年はぜひ大阪にお集まりいただきますよう、皆様
のご参加を心よりお待ちしております。

会 期：2026年6月12日（金）～14日（日）
会 場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3-51
TEL：06-4803-5555（代表）

運営事務局：株式会社インターグループ内
日本老年歯科医学会第37回学術大会
運営事務局
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1
インターグループビル
TEL：06-6372-3053
FAX：06-6376-2362
E-mail：jsg37@intergroup.co.jp

学術大会ウェブサイト：
<https://jsg37.umin.jp>



◆演題募集について

募集期間：2025年11月17日（月）～
2026年1月16日（金）（予定）



「高齢者の人生の最終段階における医療・ケアに関する立場表明2025」 日本老年医学会13年ぶりの改訂

理事長 平野浩彦

日本老年医学会は、医学的状況や社会環境の変化を踏まえ、13年ぶりに「高齢者の終末期の医療およびケア」に関する立場表明を改訂し、2025年6月27日に「立場表明 2025」として公表しました。本立場表明は、臨床現場で本人のために最期まで最善の医療・ケアを提供しようと尽力する専門職の行動指針として策定され、「人生の最終段階」の定義や「最善の医療・ケア」「尊厳」

の保持などを10項目の立場表明を通じて示しています。食支援や口腔衛生管理を担う本学会会員にとっても必読の内容です。

<https://www.jpn-geriat-soc.or.jp/proposal/tachiba.html>



口腔機能低下症啓発動画のご紹介

教育委員会委員長 會田英紀

このたび、教育委員会では2024年に公開した診療参加型臨床実習マニュアル「口腔機能低下症の検査」について、適切な知識、技能、態度を習得していただくことを目的に、教育用動画の作成を行いました。歯科医師や歯科衛生士の誰もが口腔機能低下症の診断を適切に行えることができるように、本動画を有効に活用していただくことを期待しております。学会HP上の動画をロイヤリティフリーでご使用いただけますので、教育機関だけでなく個人医療機関における教育素材としてもぜひご活用ください。

動画 URL :

https://www.gerodontology.jp/publishing/manual_OralHypofunction.shtml



①口腔衛生状態不良の評価—舌背上の細菌数—

35th Annual Congress of the European College of Gerodontology 参加報告

渉外委員会副委員長 多田紗弥夏

第35回ヨーロッパ老年歯科医学会(ECG)学術大会が、2025年8月29～30日にスイス・ジュネーブで開催されました。大会長は、ECG理事であり名誉会員として長年顕著な貢献を続けてこられたFrauke Müller先生。本大会はFrauke先生の退官を祝う特別な機会ともなり、世界各国から300名を超える参加者が集い、会場は温かい雰囲気になりました。本会からは、平野浩彦理事長、長年のFrauke先生のご友人である小野高裕教授、そして筆者もスピーカーとして登壇しました。最終日にはレマン湖畔の閑静な会場でGalaパーティも催され、ジュネーブの夏の終わりの美しい景色とともに、学びと交流を分かち合う心温まる時間となりました。次回は2026年5月にドイツ・ケルンで本大会が開催されるほか、6月には大阪でECG-JSG記念シンポジウムが予定されています。長年の友情に敬意を表し、多くのECG会員が日本を訪れる予定です。ぜひ皆様もご参加ください。



大会長の Frauke 先生(右上)と講演の様子



湖畔の閑静な会場でのGalaパーティ

新規 専門医認定者の声

岡本美英子先生

(藤田医科大学医学部歯科・口腔外科学講座)

私は藤田医科大学病院を中心に、急性期・回復期・終末期それぞれの病院と歯科医院での訪問診療に従事しています。全身的な病態に応じて口腔環境が変化することや、必要な歯科治療やゴールの違いを考えることにやりがいを感じて現在に至ります。



専門医試験は社会制度や全身疾患、嚥下を含む口腔機能管理まで幅広い知識が必要であり、産育休からの復職直後だったこともあり大変でしたが、家族や職場の方々の協力のおかげで合格することができました。今後は老年歯科専門医としての専門性を高めながら、皆様のお役に立てるよう日々研鑽を積みたいと思います。

加藤陽子先生

(日本歯科大学口腔リハビリテーション
多摩クリニック)

大学附属病院の外来、在宅、施設、総合病院で、摂食機能療法を中心とした診療を行い、研究にも取り組んで参りました。機能低下が進行した患者さんが多いため、疾患特性や栄養状態、生活状況を考慮すること、関連職種との連携は必須で、報告書は特に配慮した点を記載しました。筆記試験は最新のトピックも含まれ、身が引き締まりました。老年歯科は患者さんとの関わりが深く、人としての学びも多く、やりがいを感じます。今後は摂食機能療法専門歯科医師の取得も視野に入れて研鑽を積み、貢献していきたいです。



岸本卓大先生

(徳島大学大学院医歯薬学研究部
総合診療歯科学分野)

私は徳島大学の口腔顎顔面補綴学分野に大学院生として所属してから高齢者歯科治療に携わっており、現在も同大学病院にて診療を続けています。そのなかで、口腔機能の低下や全身状態に配慮が必要な症例を中心に症例報告書に記載しました。筆記試験は高齢者の身体的、社会的な背景や全身疾患などに関して幅広い知識を問うもので、試験を通して知識の再確認につながりました。今後は老年歯科専門医としてさらに研鑽を積み、高齢者医療に貢献できるよう努めて参ります。



今田良子先生

(東京科学大学摂食嚥下リハビリテーション学分野)

臨床において併存疾患を多くもち、フレイルや認知症等高齢者特有の課題に対し専門的な知識と実践をもって対応することが不可欠であると思い現講座に所属しました。学会発表や研究を行うなかで専門医取得を意識するようになり、その過程で得た知識や経験は自身の診療に直結し、学ぶ意義を強く感じることができました。専門医試験の勉強は日々の診療や業務と並行して行ったため大きな挑戦でしたが、参考図書で知識の整理を行い、さらに症例報告書の作成で自身の症例を振り返ることにより理解が深まり、とても貴重な経験となりました。今後、より質の高い医療を提供できるよう、さらに研鑽を積んで参りたいと考えております。



名誉会員のご紹介

新しく本学会名誉会員になられた先生方よりご挨拶をいただきましたので、以下にご紹介いたします。

水口俊介先生
(東京科学大学名誉教授)

このたび名誉会員の推戴をいただき誠にありがとうございます。恩師である、故 長尾正憲教授が第2回学術大会(パシフィコ横浜)を主管されたときからお世話になっていきます。2020年から4年間理事長を務めさせていただきましたが、本会の重要性を強く感じる機会となりました。ますます高齢社会は進展してゆきますが、本会の今後の活躍を祈念いたします。



羽村 章先生
(日本歯科大学特任教授)

古希の歳に、歴史ある日本老年歯科医学会の名誉会員を拝命いたしましたこと、嬉しく存じます。補綴学講座から高齢者歯科診療科に移動した1987年に入会しました。高齢者の歯科医療や研究について何も知らなかった自分を育ててくださった本会と本会関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、本会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



【重要】JSG EXAM7について廃止のお知らせ

過日ご連絡させていただきましたとおり、JSG EXAM7 の廃止について慎重に検討を行ってまいりました。その結果、2025年3月27日の本会理事会におきまして、2026年3月31日をもって廃止となることが正式に決定いたしました。

すでに新規の利用開始は停止させていただいております。また、2026年3月31日の利用停止をもちまして、すべて消去されます。必要なデータにつきましては、利用停止までに保存を行っていただきますようお願いいたします。停止後にはデータの取り出しは一切できませんので、余裕をもってのご対応をよろしくお願いいたします。

ご利用中の会員の皆様、また、これからの利用を検討されている会員の皆様には多大なるご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解を賜りたく、お願い申し上げます。



編集後記

広報委員も8年目となりました。学術大会の看板のデザイン、写真撮影やSNSでの周知などをメインに活動しております。今期から支部運営委員も兼務となりました。15年前の幽霊学会員だった自分からは想像ができませんが、今後も皆様の円滑な学会活動のサポートができるよう励んでいきたいと思っています。

(織田展輔)

発行人 平野浩彦
編集 (一社)日本老年歯科医学会広報委員会
事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
駒込TSビル (一財)口腔保健協会内
電話 03-3947-8891 FAX 03-3947-8341
E-mail jsg@kokuhoken.or.jp

